

議会だより 京丹後

6月定例会の内容を中心にお伝えします。

9月定例会の予定

8月30日／本会議（招集日）
9月11日／本会議（一般質問）
9月12日／本会議（一般質問）
9月13日／本会議（一般質問、議案審査）
10月 4日／本会議（最終日）

令和元年6月定例会

令和元年6月定例会は、6月6日から7月1日まで26日間の会期で開催しました。丹後図書館を丹後庁舎3階に移転するための実施設計委託料等を盛り込んだ補正予算第1号及び第2号、公共施設使用料等の条例改正、京丹後市火災予防条例の一部改正、財産の無償譲渡（旧久美浜町役場）などの議案61件を審査し、使用料・手数料の見直しについての要望書などの陳情について審査を行いました。

また、京都府知事に対し京丹後市議会として『地域医療存続のための医師偏在の解消及び医師の安定的招聘を求める意見書』を提出しました。

補正予算第1号

補正額 3億4528万円（補正予算後341億5528万円）

- | | |
|-------------------------------|--------|
| ○ 丹後地域公民館耐震補強等改修経費 | 2209万円 |
| ○ 丹後図書館の移転経費 | 383万円 |
| ○ プレミアム付商品券発行事業（子育て世代等の負担を軽減） | 7830万円 |

補正予算（第1号）

図書館管理運営事業

問 地域公民館に戻さず丹後庁舎3階へ移転する理由は何か。

答 公民館では十分な面積が確保できない。庁舎3階であれば5000平米程度使用が可能である。

丹後町全体を考えた場合に庁舎内が良いと判断。

問 図書館協議会の答申に中央図書館構想があるが今回の整備との関連は。

答 久美浜と丹後については、維持すべき。大宮・峰山近辺の中央図書館については時間をかけて検討する必要がある。

問 子どもたちの利用について、交通手段などの安全面への配慮はどうか。

答 学校で、自転車に乗れる範囲が決まっている。

今後、新しい丹後地域の拠点として周辺整備を含め安全対策を検討する。当面はソフト対策となる。

経営支援事業

問 プレミアム付商品券の内容は。

答 消費税10%への引き

上げを前提とした低所得者や子育て世帯への影響緩和策。購入対象者は2019年度の住民税非課税者と平成28年4月2日から令和元年9月30日までに子どもが生まれた世帯とし、該当者には通知する予定。購入は該当者1名につき、額面で2万5千円分が2万円で購入できる。発売は10月1日から、使用期間は10月1日から来年3月31日を想定。

問 地域経済に対する波及効果はどうか。

答 消費拡大を図るという制度ではなく、子育て世帯や低所得者の生活を安定させることが狙いである。



丹後庁舎3階に移る 丹後図書館

公共施設使用料等の改正条例の内容

公共施設使用料を一部改正する条例案8件が、各常任委員会に付託された。

8件に共通する市の提案理由として

・ 諸施設の使用料が合併以来、一度も見直されていない。

・ 受益者負担の適正化。

・ 消費税を外税化し適切に転嫁する。

・ 減免基準の統一として

・ 使用時間区分の統一

・ 使用料特別割合の設定

・ 使用料減免基準の統一

・ 減免対象者の基準

という説明であった。



久美浜公会堂

公共施設等の使用料・手数料の見直し関連条例を否決 委員会審査が不十分とした再付託動議も否決

集落センター条例等の一部改正

行政財産使用料条例の一部改正

峰山総合福祉センター条例等の一部改正

意見交換

・消費税外税方式、行革の観点、受益者負担の公平性を議論すべき。

賛成討論

・これまで消費税増税分は一般財源で負担。消費税の適正転嫁は評価する。

・使用料の原価計算も妥当であり、新しい利用時間区分で使いやすくなった。

反対討論

・統一した減免基準が示された。市外利用者の特別料金は地域の財源となる。

賛成討論

・公共施設には、それぞれ設置目的や役割があり、統一の考え方に異議がある。

・市民への説明が不足している。少人数団体等の市民活動を阻害するものであり、減免基準も恣意的だ。

賛成討論

・市民の活発な活動を保証することが大切。

【賛成8、反対13で否決】

賛成討論

・市民生活に影響ない条例改正。消費税を転嫁しなければ市民負担が増す。

反対討論

・国の決定に右にならえでは、地方自治の精神に反する。

【賛成9、反対12で否決】

火葬場条例の一部改正

意見交換

・市民への影響はなく、市外の方の料金を2倍とするもので問題はない。

賛成討論

・市民が優先してサービスを受ける施設。市外の方の使用料が増えることで、市民の税負担分が減る。

反対討論

・受益者は市民全体であり、特定の市民ではない。火葬場使用料を無料にしている自治体もある。

【賛成9、反対12で否決】

賛成討論

・提案は積算根拠や施設の目的による減免基準によつて、値上げも値下げもある合理的なもの。

反対討論

・コンプライアンスは重要だ。使用料は、利用しない人が利用者の分も負担している。市民活動の促進は減免等で図るべき。

施設廃止より負担増でも存続を求める声もある。

賛成討論

・市民活動が困難になるとの声を聴くべき。減免でも負担はあり、小さな団体にこそ手厚くされるべき。自発的、自主的活動は市が支援すべき。

反対討論

・各町の施設活用には文化があり、一律に統一の考え方は精査すべき。消費税8%の時は、市民負担を避けたもの。免除等の陳情もあり提案にいたる環境が整っていない。

賛成討論

・関係施設使用料は191万円と大幅増である。負担は低く統一すべき。市の支援があるからこそ文化活動は活発化する。目指すまちづくりに逆行する。

【賛成8、反対13で否決】

学校体育施設等の利用等に関する条例等の一部改正

弥栄農家用貸付住宅施設条例等の一部改正

・値上げというが、減額されるものもあり、指定管理者へのヒアリングもされ、金額設定も適切である。

意見交換

・使用料等の統一、消費税の転嫁も適切。利用しやすい料金設定という市民の願いがある。

賛成討論

・免除規定に不公平感がある。少人数団体の扱い等、減免等の再検討が必要。

反対討論

・利用者負担はやむを得ない。使用時間区分は適切で、減免基準も拡大されており市民の声を聞いた結果である。少人数に對しても減免すべき。

賛成討論

・市民に大きな負担を強いる。受益者負担は公共サービスの考え方に反する。事前ヒアリングも通告のみで、不十分である。

反対討論

・自主活動支援の観点を度外視している。公的施設の公共性を損なうものだ。事前ヒアリングでも反対の声がある。

賛成討論

・多くの施設が指定管理で、公共施設見直しの対象施設。議会として指定管理料の在り方について十分な審査をすべき。

【賛成8、反対13で否決】

【賛成8、反対13で否決】

市政を問う

6月定例会 一般質問

一般質問は、令和元年6月18日、19日、20日の日程で行い、13人の議員が質問し、市長や教育長に答弁を求めました。

掲載は質問順、内容は本人から提出された要約原稿です。また、ケーブルテレビ11チャンネルでの放送や京丹後市ホームページで配信していますのでご覧ください。

議会を傍聴しましょう パソコンやスマートフォンで議会の中継・録画が視聴できます

京丹後市議会

検索

<https://www.city.kyotango.lg.jp/shigikai/>

一般質問

市長

小、中学校へのフッ化物洗口の拡充を進める

小、中学校へのフッ化物洗口の拡充をすすべき



新星会

櫻井 祐策

問本市の子どもの歯の健康について、乳幼児や小学生のむし歯の現状は。

市長 乳幼児のむし歯保有率は、1歳8カ月は、2・56%、3歳児は16・56%であり、府平均に近づいてきている。12歳の一人当たりのむし歯本数は1・4本。府平均は0・6本で、高い数値である。**問**市はどのように捉えているのか。

市長 12歳の一人当たりのむし歯本数0・8本の目標値には届いていない。対策や取り組みが重要と考える。

問各年代別のむし歯予防の取り組みは。

市長 1歳8カ月、2歳6カ月、3歳の幼児健診で、保健師や歯科衛生士の指導によるブラッシング、生活指導

や希望者へのフッ化物塗布を行っている。市内全保育所、園でも歯磨き指導や、週一回のフッ化物洗口を行っている。小学校では、4校で週一回のフッ化物洗口を行っている。

問乳幼児や小中学生にフッ化物洗口をする意義と必要性は。

市長 乳幼児期は乳歯が生える時期、学童期は永久歯が生える時期であるため、フッ化物の効果最も期待される時期でもある。集団的に実施する事に意義があると考えている。

問保護者の約90%が小学校でのフッ化物洗口を希望している。17校中4校実施という状況についてはどうか。

市長 教員は多忙の中、特色ある学校運営が求められており、各校の

事情に合わせ、校長判断としている。**問**フッ化物洗口の拡充実施を含め、歯と口腔の健康づくりを積極的に取り組むべき。**市長** 歯や口腔の健康保持が、健康で質の高い生活を営む上で重要な役割を果たしている。小学校へのフッ化物洗口の拡充を進める。



幼少期のむし歯予防が健康の増進につながる

一般質問

ふるさと納税の目標額は、
低過ぎないか

市長
返礼品はちりめんでも10万
円以下とされた



新 星 会
金 田 琮 仁

問 ふるさと納税は本市にとって貴重な自主財源だ。目標額を高く定め積極的に取り組むべきであり、返礼品で本市の産業を盛り上げるチャンスでもある。例えば富裕層をターゲットにした旅行プランや、ちりめん製品など高額商品を返礼品に設定して、丹後の観光振興につなげてはどうか。

源が伴うので、まず各競技団体からの要望や課題を聞き取り、取りまとめて優先順位を「組織決定」していくべきと考えるが、できていないのではないか。

市長 体協は、加盟団体を統括し、体育・スポーツの普及と振興に努めることと理解している。施設整備の順位付けにおいては、体協の意見は聞いている。

市長 返礼品の間人ガニやちりめん製品は本市の地場産品であるのに、総務省からの高額品の是正要請に、ちりめんも含まれていた。

体育協会の役割と方向性について

問 25年3月議会でも質したが、体協の大きな役割の一つにスポーツ施設の充実がある。施設整備には多額の財

問 体協には多額の補助金が出ている。法人格を取得し、施設の指定管理など積極的に自主事業にも取り組むべきだ。市教委は指導・助言してきたのか。

市長 法人化に向けて支援していきたい。

市民生活に支障がある未舗装の市道について



市道・丸山四反田線、通学路でもある

の市道に対する要望がたびたび出されているが、いまだに整備されていない。その対応と、今後の整備予定は。

市長 多くの地区要望は承知しているが、通学路を優先している状況だ。また、災害復旧工事が最優先だが目途が立てば優先度の高い順に進めていきたい。

一般質問

死亡に伴う手続き等の負担
軽減を

市長
市民の負担軽減に向けて具
体化していく



政 友 会
由 利 敏 雄

問 市民の手続き等の負担軽減を図るため、システム化による簡素化は出来ないのか。

市長 死亡に伴う手続きは業務ごとに書類に記入、書類は市民局の窓口で準備している。

さらなる市民の負担軽減や時間短縮に向けて、システム化を具体的に進めていく。

問 市役所以外での手続き等についても、市民の負担軽減を図るためのサービスとして、情報提供できないか。

市長 正確な情報を把握して提供することは難しいが、市民からの問い合わせもあるの

で、多くの市民に関係する内容については、検討の余地がある。何が必要かなど概要を一覧表にして、市民サービスの向上に努める。

最期まで自分らしく生きるための支援を積極的に推進すべきでは

問 最期を過ごしたいと考えている場所は。

市長 看取りの場所は、自宅での希望が43%、病院が17%となっている。(平成29年度)

問 死亡場所は。

市長 29年度では自宅が8・5%、医療機関が78・8%である。

問 このような現状についての分析は。

市長 病院や診療所が多く開設されたこと、家族の看護や自宅での看取りが困難になつてきたことなどである。

また、近年では、介護施設での看取りも多くなつてきている。

問 看取りについて、市民への啓発や学習の機会の取り組みは。

市長 平成28年度から



本市が紹介しているエンディングノート

地域懇談会を実施、看取りセミナーの開催などを積極的に進めていく。

問 エンディングノートの配布や活用は。

市長 地域懇談会で配布。人生最期をどう過ごすのか、本人や家族が考える機会になればと考えている。

一般質問

本市が目指す、これからの農業の在り方は

市長
儲かる農業であり、職業だと考える政友会
和田正幸

問 京丹後市のこれからの農業振興策について、どのように考えているのか。

市長 本市の特徴を生かし豊かな地域資源を活用するとともに、農業者と一体となり農業の活性化を目指す。

問 中山間地域事業等を推進しているが、後継者不足等による農地の遊休化や荒廃は進んでおり、農地の保全が難しい状況は変わっていない。今後、農地の保全について、どのようにしていくのか。

市長 多面的機能支払や中山間直接支払の事業に取り組み、農家と非農家が一体となり、交付金を活用しながら地域で保全活動を行うことが重要と考える。

現状として小規模農家が地域農業を守っている一面がある。今後、小規模農家をどのように守っていくのか。

市長 機械の共同利用、担い手の集積や集落営農法人の設立、近隣地域との連携など、持続可能な農業・農村づくりを進めていく。

緊急避難場所について
問 高齢化が進む中、各地域・地区のコミュニケーションが重要だと思われるが、まずは、地区避難所を各公民館にするべきでは。

市長 災害種別ごとの緊急避難場所を指定している。市の指定避難所ではなく、地区避難所として指定することが望ましいと考えているので、指定の要望があれば各市民局へ相談



小規模農家をどう守るのか

してもらいたい。

問 各地区公民館を避難所とし、区長・役員さんに一定の手当を支給するべきだと考えるがどうか。

市長 地区避難所は、主体的に開設、運営される共助の避難所であるので、市が手当を支給することは考えていない。

一般質問

再生可能エネルギーで市に仕事と雇用を

市長
経済効果はつかみにくい側面的支援をする日本共産党
田中邦生

問 政府の出した資料で、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの発電コストが原子力発電コストの1kw時当たり10・1円を大きく下回っている。もはや原発はビジネスとして成り立たない。

再生可能エネルギーは地域の中小企業が主役となり、産業の振興や雇用促進に期待が持てる。京丹後市の産業政策や雇用対策として促進すべきだが。

市長 エネルギー政策は国が責任を持って進めるものと考えている。市として再生可能エネルギー導入事業をすすめ、平成30年度の発電量は2万kw、市全体の電気使用量の8%である。

再生可能エネルギーの経済効果はつかみにくい

くいが申し出があれば側面的支援をする。

有害鳥獣対策の強化を

問 有害鳥獣捕獲事業は猟友会に委託し、捕獲檻の管理や捕獲個体処理作業など大変ご苦労になっている。捕獲報奨金と奨励金を見直し引き上げるべきだ。

市長 府の捕獲強化事業の奨励金は、オスジカが補助対象外のため市独自に2500円の支援をしている。

危険空家対策の推進を

問 危険空家の除却は市民の安心安全にとって喫緊の課題である。条例制定から2年経過したが、取り組みの成果はどうか。また市民への制度の周知や情報共有が必要だが。

市長 空家調査の結果、



有害鳥獣対策の強化を

管理不全で危険な122件の空家所有者へ事前指導書を発送し、27件の除却ができた。緊急老朽危険空家除却費補助金を活用し、5件の除却を行った。

市に相談窓口を設置した。区長と空家等の情報、空家の位置、事前指導の有無など基礎情報を共有している。

一般質問

府立高校改編の疑問や不安の解消を急げ

教育長

府と連携し現場の疑問にしっかりと応えたい



日本共産党

橋本まり子

問 丹後通学圏の府立高校が改編されるが、詳しい情報がまだ十分に届いていない。市教委が生徒、保護者、教員の不安や疑問を解消するために、府とのパイプになり力を尽くすことが求められるが。

現場の疑問にしっかりと応えていきたい。

米軍基地受け入れ時の約束は守られているか

問 発電機の稼働など約束違反が続く。交通事故は加害被害問わず、事故報告をすることが市民の安心安全を守る手段だった。事故件数のみの報告に！との米側の申し入れに、理由をただしたのか。

市長 米側から軽微な事故まで全て報告するのは適当でないという申し入れがあった。情報提供が止まっていたことは遺憾だとしたが、件数のみにする理由はただしていない。

問 この件に関して真意を問われた市民に副市長は「会わない」とされた。市長の「あらゆる基地の不安を解

消」「中央でなく市民を向いた市政」の公約に反すると考えるが。
市長 安連で適切に対応している。
問 すべての根底に日米地位協定がある。この見直しの意見書を市として出すべきでは。
市長 基地を抱える自治体と連携して考えていく。



約束違反！激しい音が続く米軍の発電機

一般質問

網野庁舎解体・撤去後の跡地利用の考えは

市長

網野町区長協議会からの提言を待つて考える



日本共産党

松本直己

問 網野区長連絡協議会が中心になって行っている「網野庁舎跡地利用検討会議」における検討状況は。

市長 網野町内から16人の委員を公募し、通称「網野ラボ」を設置。昨年12月より7回意見交流を行っている。

問 この会議において、予算的なことを含め、市はどのような立場で関わっているのか。

市長 小規模多機能自治推進補助金を活用。まちづくり推進という立場で網野市民局を中心に支援している。

問 網野の中心部にはJAの空き地、統合された幼稚園、庁舎解体後の跡地、建設部の庁舎などがあるが、どの範囲での構想を検討しているのか。

市長 範囲を定めること

なく意見交流していただいている。

問 この地域は、豪雨や台風時には浸水地域になることがある。跡地活用と浸水との関係について、市はどのように考えているのか。

市長 新しいポンプ場建設において効果が出るものと考えている。浸水対策と分けて検討していただいている。

問 網野町区長連絡協議会から提言を受ければどのように対応するつもりか。

市長 今年度中に提言が出されると思うので、目的意識を持って取り組んでいきたい。

文化の薫り高いまちづくりについて

問 市長は市長公約に「文化の薫り高いまちづくり」を上げておら

れる。3月議会で「京丹後市文化芸術振興条例」が議員提案で成立した。今後の文化芸術振興をどのように行っていくのか。

市長 京都に文化庁の移転も決定している。今まで通りの事は当然行い、さらに文化芸術振興を深めていきたいと考えている。



解体・撤去予定の網野庁舎

一般質問

学校給食施設の整備について

教育長

方向性はセンター方式で



日本共産党

平林智江美

問 本市の学校給食施設整備調査結果を受けて教育委員会の方針が出された。報告書では5施設のセンター方式とのことであるが、確定なのか。

教育長 大きな方向性はセンター方式であるが、何力所とか、細かい事はこれからである。

問 自校炊飯について、給食の評価、子ども達にとってどうなのかなどの検討は。

教育長 自校方式の場合、基準が強化されていて、汚染地域、非汚染地域に分けなければならぬために広い場所が必要となる。財源的に課題があるので、センター方式で考える。

問 市民や子ども、保護者、現場の声はどのように反映されたのか。

現場から、「調査では何も聞かれなかった」との声が上がっている。意見を聞いて方向を出すべきではないか。

教育長 スケジュールを含め、今後市民の理解が得られるように、十分時間をかけて行う。

問 事業スケジュール案では、2021年度から24年度の4年で進めるとの報告であるが、決定なのか。

教育長 莫大な財政負担となるので、今後の検討課題である。

医師体制充実について

問 厚生労働省のデータでは、医師偏在指数について、丹後地域が「医師少数区域」から外され、医師は足りている地域となった。医療関係者は「丹後は広大な地域であり、実態と違

う」と苦言を呈している。知事も地域の医療ニーズに合う形で医師が確保されることが重要と言っている。計画は、9月素案、3月に決定となる。市長は対応についてどう考えるか。

市長 知事がいう通りであり、国・府にも意見を上げていく。



弥栄小学校の給食調理室

一般質問

防災の備蓄品に液体ミルクの導入をすべき

市長

試行的に導入を検討していきたい



丹政会

東田真希

問 保育所の入所待ちで仕事に復帰できないのは切実な問題。保育士不足が一因であるが入所待ち解消への取り組みは。

教育長 広報誌、ハローワークでの求人、職員の知人に声をかけている。「はぐはぐ」で入所希望者は早めに申請してもらおうよう案内をしている。

問 保育士不足解消について移住者支援、大学との連携など他の部署と連携としては。

教育長 検討はしていきたい。

問 公立と私立のサービスの違いをどう考えるか。

教育長 民間と同じように公立も時間延長、休日保育は保育士不足の面からも難しい。公立は教育・保育の質の

向上の取り組みをし、それぞれ強みを生かして運営をするよう努力をしている。

問 災害時に母乳に替わる粉ミルクは水やガスコンロが必要だ。備蓄品に液体ミルクを導入すべきでは。

市長 保存期限が1年と短い。常温保存の適切な場所での保管に課題があるが、まずは粉ミルクを備蓄し、液体ミルクも試行的に検討していきたい。

地域の孤立について

問 介護は精神的にも肉体的にも大変。介護者へのサポートは。

市長 ケアマネの介護相談、ショートステイ、介護保険以外では認知症の介護者教室、家族のリフレッシュを目的とした短期間の入院

サービスがある。

問 高齢の介護者、地域で孤立している方、不登校児童の卒業後など、支援につながりにくい方にしっかり支援が届いているのか。

市長 支援が届いていない方への支援をどうするかというのが課題。啓発活動や民生委員と協力していく。



安心して子育てできるまちに

一般質問

食と農で地域の誇りを育む
ことはできないか

市長

全ての世代へ食育の取り組みを一層推進する



丹 政 会
谷 津 伸 幸

問 農業の継続には、経営の視点は欠かせないが、農業者の状況はどうか。

市長 経営改善計画を持つ認定農業者は173経営体がある。農業経営改善支援センターを設け、日頃から農業経営の相談、計画達成の支援を行っている。

問 コシヒカリは長年、食味が特Aでブランド力があつた。今後はどうするのか。

市長 まずは特A評価の奪還が最優先課題。現在、京都府が新品種を開発している。産地間競争が激化する中で新品種はブランド化の大きな契機になる。

問 コシヒカリは長年、食味が特Aでブランド力があつた。今後はどうするのか。

市長 全ての世代への食育の取り組みと共に、観光客に対しては、食を知り体験できるように政策や事業を展開し、定住人口や交流人口の増加や食に関わる産業の振興を図り、持続可能な地域づくりを進めたい。

地域を誇るブランド化
問 京丹後市におけるブランド戦略は。
市長 産品の特徴と明確なコンセプト、徹底した品質管理で消費者の信頼を得ることが重要。間人ガニ、京丹後梨、京丹後メロン、丹後産コシヒカリなど、ブランド産品の評価も高い。今後は第三者認証制度など安心安全で良質な生産を進め、ブランド化を図りたい。

顔の見える流通
問 学校給食への地元食材の利用には、農家ファイルの活用や流通の仕組みづくりが課題と聞かれますか。
市長 農家の流通負担の軽減と流通体制の課題解決のため、農家、丹後王国が経営する愛菜館と関係部署が連携し、市内2校でモデル事業を実施している。



食と農によるまちづくり

一般質問

米軍基地問題の対応が後手
になっていないか

市長

しっかり対応していきたい



丹 政 会
池 田 恵 一

問 Xバンドレーダーの設置における10項目の申し入れは守られているのか。発電機の騒音や、交通事故の報告など対応が後手に回っていないか。

市長 その都度、情報をすばやくキャッチし対応に努め防衛省に申し入れを行ってきたが、指摘の件はしっかりと対応していきたい。

問 交通事故の報告の基準が変わったが、市の安全安心の考えが変わったのか。

市長 従来と変わっていない。しっかりと市民の安全安心は守っている。

京丹後市も宿泊税の導入を検討しては

市長 先の海の京都が総括はできているか。

行ったアンケート調査では、ブランドネームが国内では48・9%、外国人には54・9%と外国人の方が上回る結果が出た。入込客数も99万人から1012万人になり、外国人も3万5千人から5万7千人に増えている。

問 海の京都構想の中で、夕日ヶ浦を重点地域に指定して、他の観光地にも周遊してもらうとの事であったが、どうなっているのか。

市長 確かにそのような構想の中で海の京都事業に取り組んでいるが、成果について検証ができていない。

問 今、全国の観光地で宿泊税の導入、検討が進んでいる。この税は一日住民税として宿泊客から徴収する税で、一人200円だと、年



求められる安全・安心

一般質問

WMG2021 関西大会への
取り組みは市長
市民総意の結集で大会の成
功へつなげたい清 和 会
谷 口 雅 昭

問 本市の東京オリ・パラホストタウン相手国は、韓国、オーストラリアだが事前合宿誘致国は確定したのか。

市長 現時点で正式決定はないが、スペインが前向きに検討中で夏には決まると思う。

問 丹後の海で、カヌー世界選手権大会の開催に向け、カヌー施設の国際基準適合に向けた改修事業の進捗は。

市長 コース等は、事前合宿有力国の視察が本格化する9月までに設置予定。カヌー艇庫は、ワールドマスターズゲームズ2021関西大会(WMG)は障がい者部門の競技もあるため、多目的スペース、トイレ、シャワー室などを備えた艇庫改修を大会までに行いたい。

問 WMGの取り組み

状況は。

市長 大会種目のカヌー競技が本市で開催され、選手・家族、友人など含め3千人の参加が見込める。実行委員会を設置しており、市民総意を結集し大会の成功へつなげたい。

問 障害者スポーツ推進に向けた考えは。

市長 平成30年、教育委員会・福祉部局・体協と連携し、「スポーツのバリアフリー講演会」を開催。今後は障がい者スポーツの普及、共生社会の実現にむけて、体験型スポーツの機会づくりから進める。

海の景観・環境の観点からの係留対策は

問 久美浜湾の係留対策として、管理者を置きルールを守ることが

必要で、「京都府プレジャーボート等係留対策協議会」が設置された。その後の状況は。

市長 府の管理する湾であり、京都府も係留場所の整備の必要性は理解している。係留協議会で現在、候補地調査を行い、候補地の選定や、整備の方法・施設の管理手法の検討をしている状況である。



不法係留の警告看板

一般質問

「一定理解発言」を取り消す
意志はないか市長
全部のんだ訳ではない。取り消す必要はない創 明
浜岡大二郎

問 副市長は「米軍人・軍属が交通事故を起こせば速やかに事故内容を報告する」という約束を「今後は重大事故を除いて事故件数のみを報告する」との防衛省の方針転換を「一定理解する」と容認した。

この発言は今後の事故交渉に際し自らの手を縛る取り返しのつかない重大発言だ。なぜ地元住民との相談のないまま発言されたのか、市長も一定理解すると考えているか。真意をただしたい。

市長 適切な情報提供を求めるのは従来通りだ。

問 地元住民は事故防止のため可能な限りの情報を求めている。一定理解発言の真意をただそうと面会を求めたが拒否された。なぜか。

市長 行政組織を通して考え方を伝えた。

問 非常に冷たい。一緒に考えようとする姿勢が薄い。市長も「何かあれば私が行動し対応する」とは裏腹だ。この姿勢は府や防衛省に誤ったメッセージを送る。一定理解発言を取り消す意志はないか。

市長 全部をのんだ訳ではない。発言の取り消しは必要ない。

人口減少対策について

問 高速道路が産業や工場を持つてくると錯覚してはならない。土地の魅力作り、にぎわい作り、活性化こそ必要だ。市長の考えは。

市長 高速道路延伸効果により既に2件の工場立地があった。



速やかな事故内容の報告を

陳 情

陳 情 名	陳 情 者	陳 情 の 趣 旨	結 果
使用料・手数料の見直しについての要望書	京丹後市女性連絡協議会 会長 小西 恭子	京丹後市が活性化し、より良いまちになるよう活動している私達各種団体の実情を勘案し、活動の基盤である会館や会場の使用料が、免除等の措置になるよう要望する。	みなし 採択

意 見 書

京丹後市議会は京都府知事に対し、下記の意見書を採択、提出いたしました。

地域医療存続のための医師偏在の解消及び医師の安定的招聘を求める意見書

市民の生命と健康を確保するため、救急医療をはじめとする地域医療体制の確保にあたっては、何よりもまず安定した医師の招聘が必要である。

京都府では 2019 年度に医師の偏在解消を目的とした医師確保計画を策定されるが、本年 4 月 1 日に厚生労働省から提供されたデータによる医師偏在指標では、従来から医師不足が指摘されてきた丹後医療圏が医師少数区域ではないとされ、丹後地域に暮らす我々は、実情との相違に驚くとともに大きな疑問と憤りを感じている。

何よりも市民が安心して暮らすことができる大きな基盤の一つに、医療機関の安定的体制づくりがある。医師招聘の不安定な事態が今後も継続するならば、京丹後市における医療難民の増加はもとより、人口減少や少子高齢化、医療格差はさらに顕著となり、京都府内の均衡ある発展は望めない。

よって、京都府におかれては、府内における地域医療格差拡大の危機を回避し、京丹後市の深刻な医師不足を解決するため、下記事項を実現されるよう、ここに強く要望する。

記

- 1、京都府として、医師偏在指標を的確に精査したうえで、府内における二次医療圏の医師偏在の解消につながる医師確保計画を策定することとし、策定に当たっては各市町村に意見照会を行うこと。
- 2、特に医師不足が心配されている産婦人科医については、人口減少に直接的に大きく関することから、医師の地域偏在は解消すべき最優先課題としてとらえ、その解決に努めること。
- 3、自治体立病院が地域医療の中核的役割を担うために必要な医師招聘の経費に対し、支援措置を講じるとともに、国に対して財政的支援要望を行うこと。

議案に対する各議員の賛否一覧表

賛否の分かれた案件を記載しています。

会派名		議案の可否	政友会					丹政会					日本共産党			新星会			清和会		創明	
議員名			松本 経一	藤田 孝太	水野 孝典	由利 敏雄	和田 正幸	谷津 伸幸	池田 恵一	中野 勝友	東田 真希	平井 邦生	田中 邦生	橋本まり子	平林智江美	松本 直己	金田 琮仁	櫻井 祐策	中野 正五	行待 実	谷口 雅昭	吉岡 豊和
案 件	専決処分の承認について《京丹後市税条例の一部改正について》	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
	京丹後市税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
	京丹後市アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の特例に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
	京丹後市教育委員会教育長の任命について	同意	退	○	退	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	京都地方税機構規約変更に関する協議の件について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
	京丹後市集落センター条例等の一部改正について	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
	京丹後市行政財産使用料条例の一部改正について	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
	京丹後市火葬場条例の一部改正について	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
	京丹後市峰山総合福祉センター条例等の一部改正について	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
	京丹後市弥栄農家用貸付住宅施設条例等の一部改正について	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
	京丹後市弥栄機業センター条例等の一部改正について	否決	×	×	×	除	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
	京丹後市法定外公共物の管理及び使用に関する条例等の一部改正について	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
	京丹後市立学校体育施設等の利用等に関する条例等の一部改正について	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×

《凡例 賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除 松本聖司議員は議長職のため表決権はありません。》

市民の声

細川ガラシヤに
思いを馳せて
繋がり〜継続〜そして発展へ



(一般社団法人)海の京都DMOK京丹
後地域本部(京丹後市観光公社)
弥栄町支部長 梅田 肇

戦国の世に激震が走った本能寺の変のその後。「細川ガラシヤは、宮津城からどのルートを通って、隠棲地の味土野(京丹後市弥栄町野間)まで行っただろうか。陸路だったのか、それとも海路だったのなら、日置浜(宮津市日置)まで舟で渡って、どの集落を通り、どの山を越えて…」と、幽閉ルートに興味を持ち始めたのが、細川ガラシヤにのめり込んだきっかけです。

年々2018年4月に、「2020年の大河ドラマに明智光秀が主人公の『麒麟がくる』が決定した」とのニュースが舞い込んできました。父と娘の関係にある細川ガラシヤのゆかりの里としての取り組みに熱が入り出しました。

観光公社弥栄町支部では、まずは、味土野周辺のガラシヤ大滝、女城跡、男城跡、金剛童子山の展望所などの観光整備を行い、この春のゴールデンウィーク前に完成させました。



宮津高校建築科の生徒さん



人部が中心となつて淨財を集め、地元が中心となつて建立されたと聞いています。

この秋には、その地の広場に宮津高校建築科の生徒さんが2棟の東屋を建ててくださいます。私たちも地元の人たちと会を作り、東屋建物の基礎工事費や運搬などの諸費用を補助金に頼らず、寄付を募り、自力で汗を流して建設費用を捻出しようとして計画しています。



◎広報編集委員会

委員	中野 勝友	委員	松本 直己	委員	水野 孝典	委員	浜岡 大二郎	委員長	谷口 雅昭	副委員長	橋本 まり子	委員	金田 琮仁	委員	和田 正幸	委員	平井 邦生
----	-------	----	-------	----	-------	----	--------	-----	-------	------	--------	----	-------	----	-------	----	-------

新しいメンバーで作る最初の「議会だより」をお届けします。市民の皆様、市政に関心を持っていただけるよう、できるだけ分かりやすい言葉で、読みやすい紙面になるよう努力してまいります。

6月定例会では、公民館や社会教育施設などの利用料等の条例改正が最大の争点となりました。改正の内容には、市民や各種団体の活動拠点である集会施設やスポーツ施設が含まれており、議会の決定に多くの方が関心を持たれ、注目が集まりました。市民の皆様は議論の経過がしっかり伝わるよう編集に力を注ぎました。

あとがき

